
V PLUS

7in1 STARLUX シリーズ

屋外対応赤外線オートフォーカスバレット型カメラ

ユーザーマニュアル

VB-HS4200WIR/L

VPLUS.CO.LI

VPLUS.CO.LK

はじめに

特徴

- 優れた低照度機能
搭載されている SONY ExmorR CMOS は STARVIS 技術により、0.03Lux の低照度環境下でのカラー撮影が可能となっております。
- 環境に合わせて出力信号の切り換えが可能
STARLUX カメラシリーズでは 7 つの映像信号出力に対応しております。
使用する DVR(デジタルビデオレコーダー) に合わせて運用が可能です。
- 2 つの夜間撮影モード
STARLUX カメラシリーズには「高感度モード」と「赤外線暗視モード」の 2 つの夜間撮影モードが搭載されており環境に合わせた夜間監視を提供します。
- 容易にレンズ調整が可能な電動レンズ搭載
STARLUX カメラシリーズは 6.0 ～ 50mm 電動バリフォーカルレンズを採用。
従来の手動によるレンズ調整が不要となり、より簡単にレンズ調整を行う事が出来ます。
- SDI 信号とアナログ信号の同時出力に対応
STARLUX カメラシリーズでは SDI 信号とアナログ信号を同時に出力する事が出来、
さまざまなオプション製品と組合せて使用することにより従来製品より
容易に柔軟な システム設計を行う事が出来ます。
- 逆光環境下でも鮮明な撮影が可能な TrueWDR 機能搭載
STARLUX カメラシリーズは TrueWDR 機能を標準搭載し、逆行環境下での
白飛びや黒潰れを補正し、より鮮明な画像を提供します。
- UTC 機能対応により対応 DVR からの操作が可能 (HD-A ・ HD-T ・ HD-C のみ)
STARLUX カメラシリーズでは UTC(UP The Coaxial) 機能を搭載し、
制御線を使用することなく、カメラのレンズ操作や設定変更を行う事が可能です。

安全にご利用いただくために

- 本製品をご利用いただく前に本書をよくお読みください。
- 本製品を水及び雨に当たる場所でご使用にならないでください。
- お手入れには乾いた布のみご使用下さい。
またドームカバーはメガネ拭き等のやわらかい布製品で拭いてください。
その他の布等で拭いた場合、傷が付き近赤外線発光時に
画像が曇るなどの症状が出る場合がございます。
- 本製品は DC12V(±10%) の電源入力により動作いたします。
DC12V 以外のアダプタ及び電源ユニットをご使用にならないでください。
- 本製品を設置される場合には専門業者等の専門知識を有した方の
指示のもと設置を行って下さい。
- 水濡れや結露、雨に濡れた場合は速やかに電源を切ってください。
- みだりに分解や改造を行わないでください。
- 設置環境は本製品の動作環境温度・湿度の範囲内の場所に設置を行って下さい。
- 本製品に不具合や問題が生じた際には取付業者または購入店にご相談ください。
お客様自身での修理などは行わないでください。

キット内容

本製品を取付ける前に、付属品に不足がないかご確認ください。



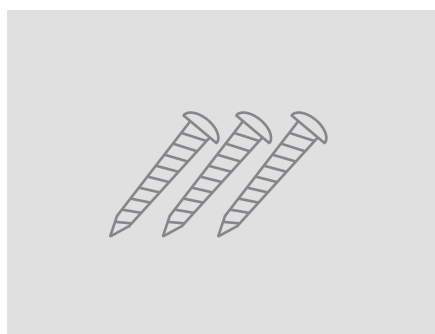
カメラ本体



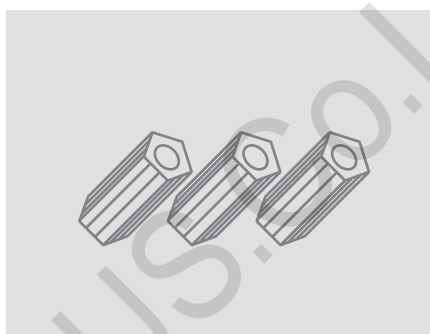
サンシールド



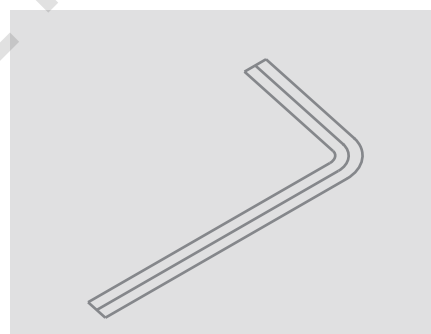
サンシールド取付ネジ



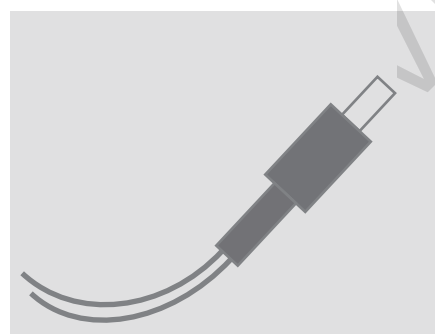
取付ネジ × 3



アンカー × 3



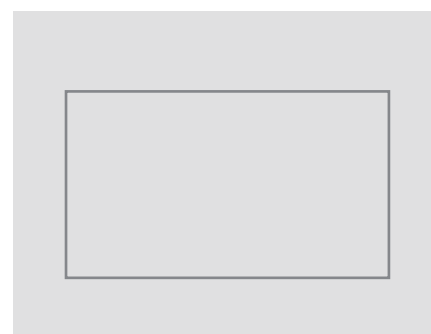
六角レンチ



DC プラグ



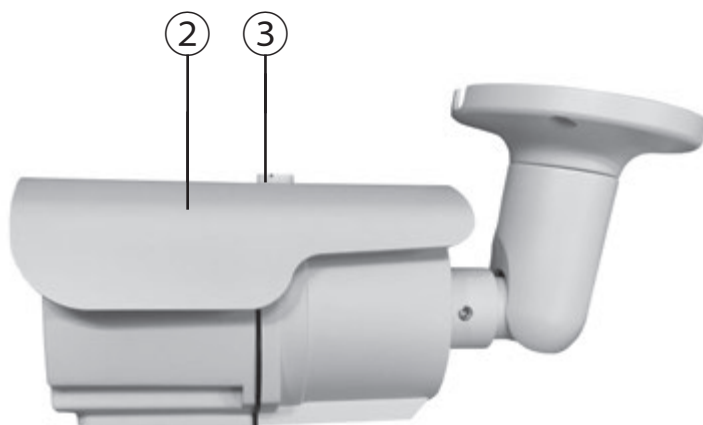
仕様書兼保証書



マニュアル(本書)

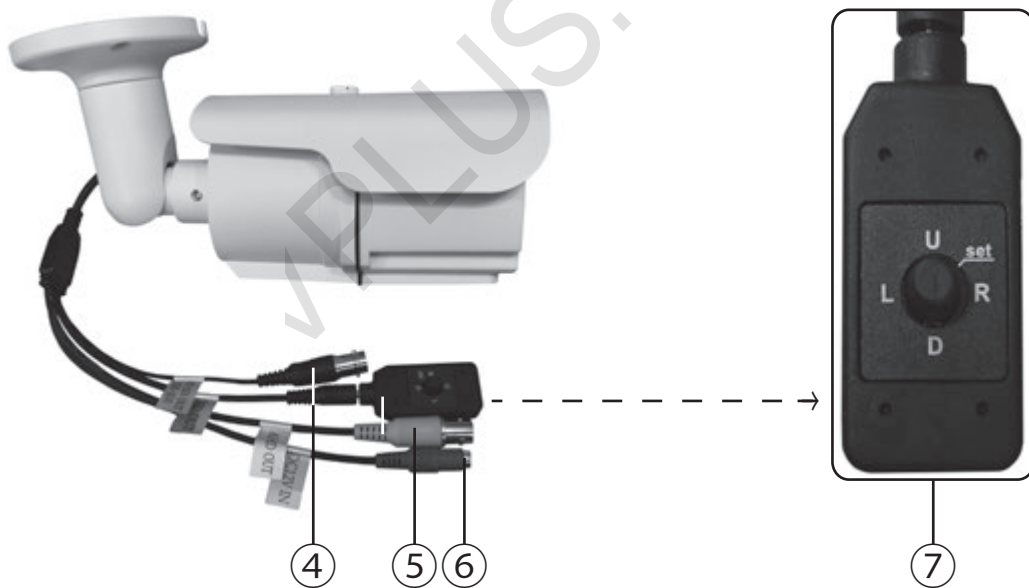
各部名称及び機能

前面・側面



- ① 近赤外線 LED
- ② サンシールド
- ③ サンシールド固定ネジ

ケーブル



- ④ SDI 系映像出力コネクタ (BNC-J・黒色)
- ⑤ アナログ系映像出力コネクタ (BNC-J・黄色)
- ⑥ 電源入力端子 (DC12V・赤色・センタープラス) \ominus — \bullet — \oplus
- ⑦ OSD コントローラー

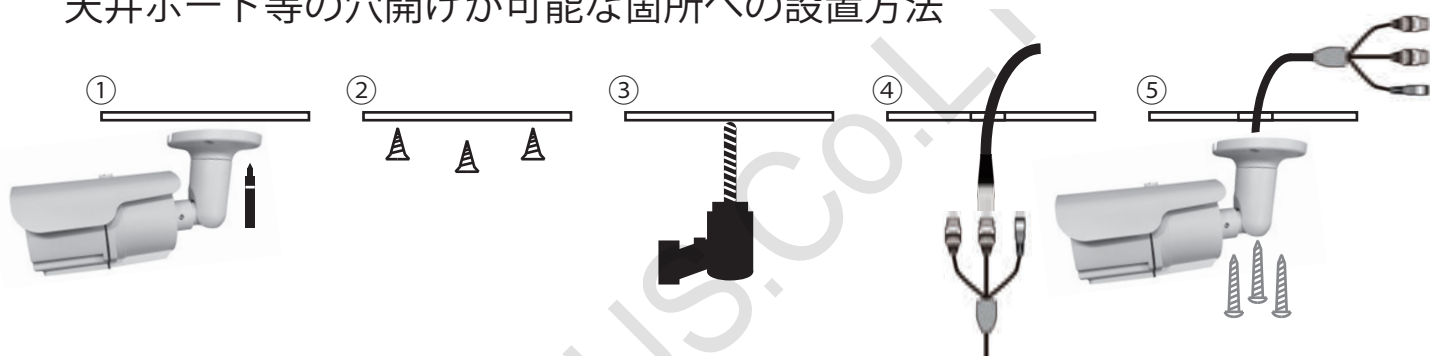
カメラの可動範囲



- ・カメラの向きを変更する際には、固定しているネジを緩めてから動かしてください。
- ・無理にカメラの向きを変更した場合、ロック機構が削れ、正常に固定できなくなります。

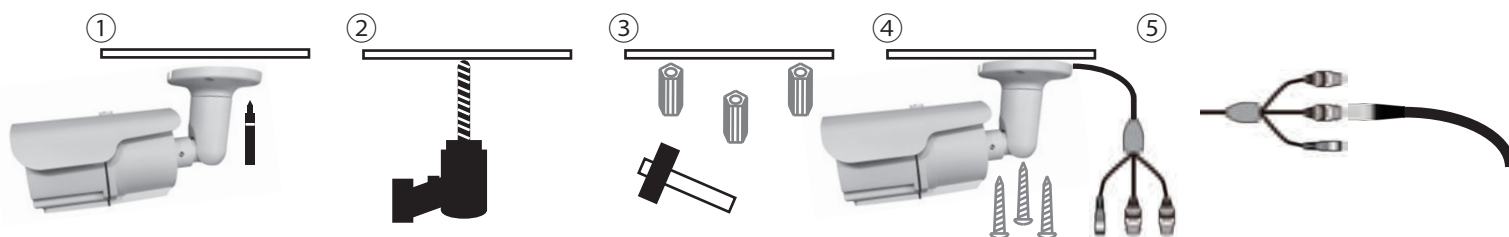
カメラの設置方法

天井ボード等の穴開けが可能な箇所への設置方法



- ①. 設置場所にカメラを当て、ネジ位置をマジック等で3ヶ所マーキングします。
- ②. マーキング箇所にボードアンカーを取付けます。
- ③. 3ヶ所の中心部に30mm程度のドリルで穴をあけます。
- ④. 開けた穴よりBNCケーブル等を取り出し、カメラ側のBNCコネクタ等と接続します。
- ⑤. カメラケーブルを天井に通し、アンカーに合わせて付属のタッピングネジ等でカメラを固定します。

壁面及び、穴開けが不能な箇所への設置方法



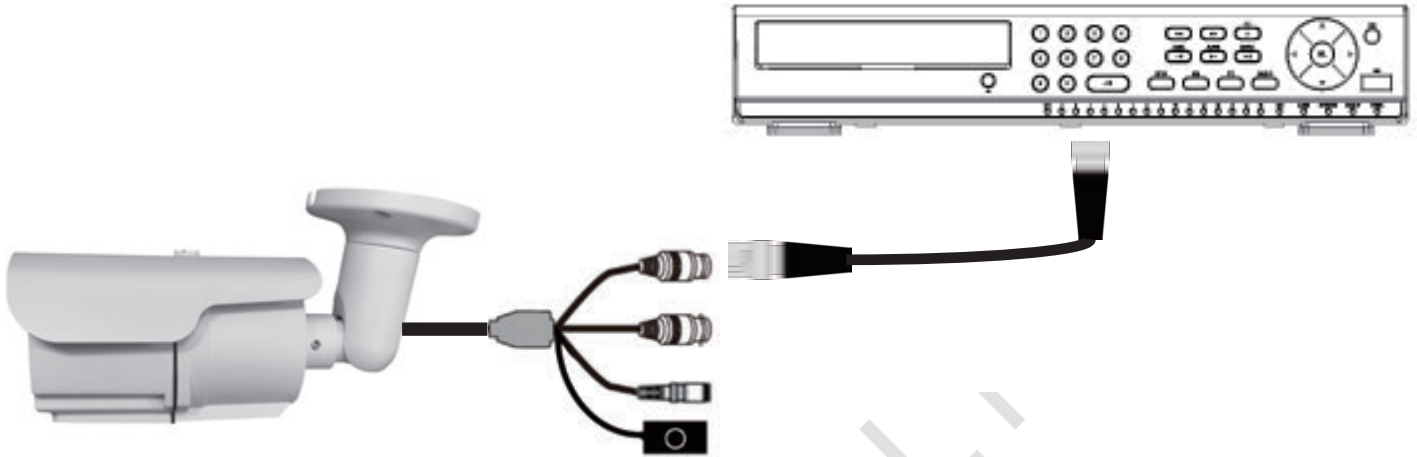
- ①. 設置場所にカメラを当て、ネジ位置をマジック等で3ヶ所マーキングします。
- ②. マーキングした3ヶ所に8mmのドリルで穴を開けます。
- ③. 穴を開けた3ヶ所に、付属のアンカーをハンマー等で打ち込みます。
- ④. カメラケーブルを底面の切欠けより外に通し、アンカーに合わせて付属のタッピングネジ等でカメラを固定します。
- ⑤. BNCケーブル等をカメラ側のBNCコネクタ等と接続します。

接続方法

アナログ HD(HD-A/HD-T/HD-C) 及びアナログ信号での接続

- 黄色 (BNC-J) コネクタと対応 DVR を 同軸線 (両端 BNC-P) で接続します。
-

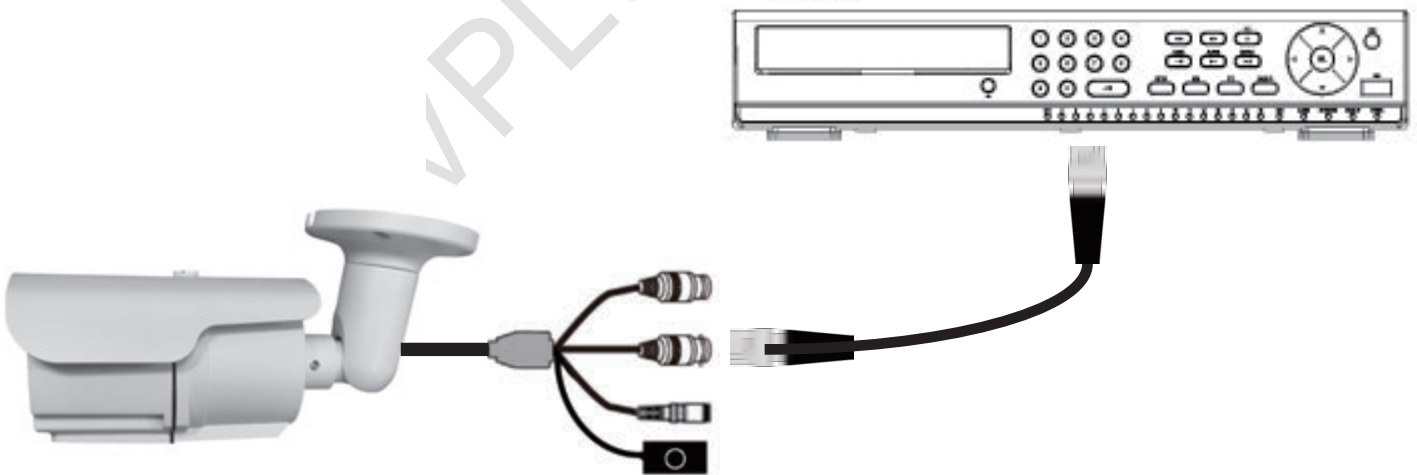
アナログ HD 及び、アナログ信号対応 DVR



SDI(HD-SDI/EX-SDI1.0/EX-SDI2.0) 信号での接続

- 黒色 (BNC-J) コネクタと対応 DVR を同軸線 (両端 BNC-P) で接続します。
-

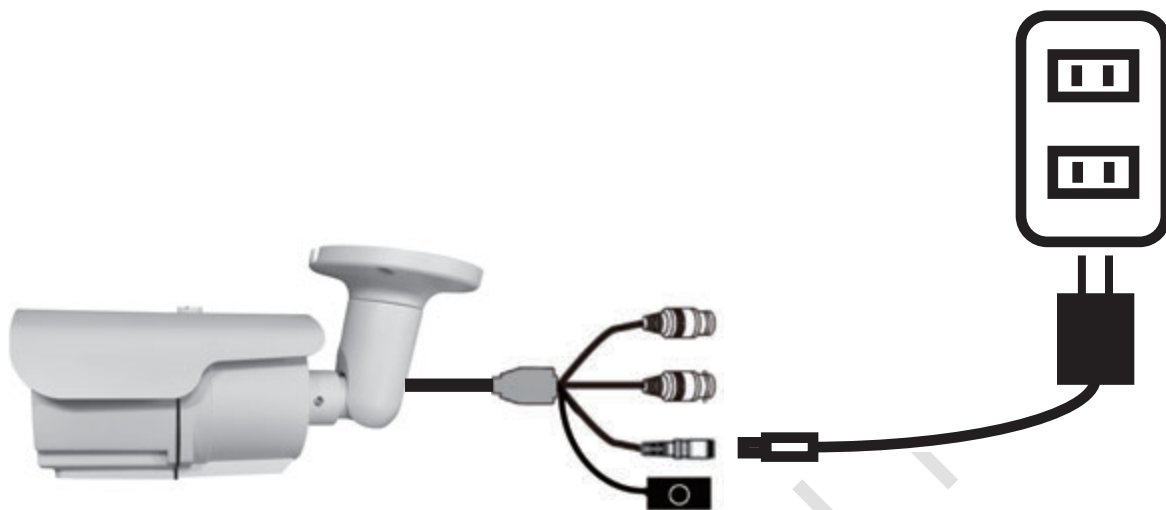
HD-SDI 及び EX-SDI 対応 DVR



- 接続される DVR に合わせた映像信号に予め合わせて下さい。
接続した DVR の対応信号とカメラの出力信号が異なる場合は映像が正常に表示されません。
- DVR と接続する際には接続する機器の電源を切った状態で接続を行って下さい。

AC アダプタ (別売) との接続

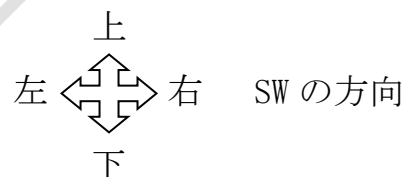
- 赤色 (DC ジャック) コネクタと DC12V AC アダプタを接続します。
-



- 本製品は DC12V 専用です。他の電圧の AC アダプタを接続しないでください。故障の原因となります。

ズーム及びフォーカス操作

OSD ボタンの方向



1. OSD ボタンの上下左右を確認します。
 2. OSD ボタンを上方向に押すことで画角が TELE(ズーム)側に、下方向に押すことで画角が WIDE(ワイド)側にレンズが移動し、ボタンを離すと画角を決定します。
 - 3 画角決定後、AF モードが AUTO の場合、自動でフォーカス調整を行います。
 4. フォーカス自動調整後もフォーカスを調整する場合には OSD ボタンを右方向に押すと NEAR(近くにフォーカス)、左方向に押すと FAR(遠くにフォーカス) 移動を行います。
- ※AF モードを MANUAL に設定している場合は自動でフォーカス調整を行いません。
OSD ボタンの操作にてフォーカス調整を行って下さい。

OSDの設定

(1)メインメニュー

ドームの蓋を蓋外し、OSDボタンを押すと画面上にメインメニューが表示されます。



図1. メインメニュー画面及び、OSDボタン

カメラメニュー表示後はOSDボタンの上下ボタンでカーソル移動、左右ボタンで値の変更、押すことで決定の動作を行います。

■メインメニュー項目

- 1.CAM_MODE : カメラのモード切換えを行います。
- 2.OSD_FUNC : カメラのOSDメニューを表示します。
- 3.EXIT : 設定を保存し、メインメニューを終了します。

(2)CAM_MODE

CAM_MODEでは、カメラの夜間動作モードの設定を行います。



図2. メインメニュー

OSDボタンの左右で「STARLIGHT」「D&N」モードを切替えます。

「STARLIGHT」モードを選択時、夜間高感度モードで動作します。

「D&N」モードを選択時、夜間赤外線モードで動作します。

OSDボタンを押すと図3.のCAM_MODEメニュー画面に切替わります。



図3.CAM_MODEメニュー

サブメニュー	詳細項目	設定値
CAM_MODE STARLIGHT /D&N	ANTI-SAT	0~20
	D>N THRES	0~23
	D<N THRES	0~23
	DELAY	LOW/MIDDLE/HIGHT (MIDDLE)
	RETURN	前のメニューに戻ります。

- ・ ANTI-SAT : 赤外線LEDによるサチレーション (飽和度)を補正します。(標準値: 5)
- ・ D>N THRES : DayモードからNightモードに切替える際の明るさレベルを設定します。(STARLIGHT 選択時 標準値: 21、D&N 選択時 標準値: 19)
- ・ N>D THRES : NightモードからDayモードに切替える際の明るさレベルを設定します。(STARLIGHT 選択時 標準値: 18、D&N 選択時 標準値: 16)
- ・ DELAY : Day/Night切換えの際のディレイ(遅延)レベルを設定します。
- ・ RETURN : 前のメニューに戻ります。

(3)OSD_FUNC

OSD_FUNCでは、カメラの各種設定を行います。

図2で「OSD_FUNC.」を選択すると、図4のOSD_FUNC画面が表示されます。



図4. 「OSD_FUNC」メニュー

サブメニュー	詳細項目	設定値
OSD_FUNC	2-MOTOR	フォーカスの制御の設定
	EXPOSURE	カメラ制御
	BACKLIGHT	補正機能(OFF/WDR/BLC/HLC)
	DNR	DNR機能(OFF/LOW/MIDDLE/HIGH)
	IMAGE	Mirror、FLP、Defog、Privacy、Motion機能
	SYSTEM	映像調整、フレームレート、周波数、通信、言語
	RETURN	前のメニューに戻ります。

(3-1)2-MOTOR

2-MOTORでは電動レンズの設定を行います。

図4で、[2-MOTOR]を選択すると、図5の2-MOTORメニューが表示されます。

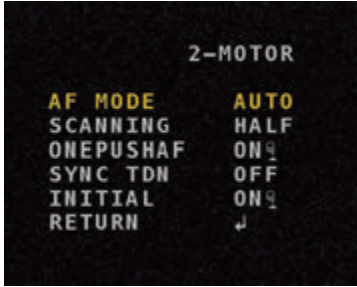


図5. 2-MOTORメニュー画面

サブメニュー	詳細項目	設定値
2-MOTOR	AF MODE	AUTO/MANUAL オートフォーカス機能(自動/手動)
	SCANNING	HALF/Full オートフォーカスの制御の方法
	ONEPUSHAF	ON ワンボタンオートフォーカス機能
	SYNC TDN	ON/OFF Day/Night切替時にAFを自動調整機能
	INITIAL	ON 電源ON時のズーム位置設定
	RETURN	前のメニューに戻ります。

- ・ AF MODE : フォーカス動作を設定します。(標準値 : AUTO)
 - ↳AUTO : 画角設定後、自動でフォーカス調整を行います。
 - ↳MANUAL : 画角設定後、自動でフォーカス調整を行いません。
 - ※MANUALを設定した場合、手動(OSDボタンの左右)でフォーカス調整を行います。
- ・ SCANNING : AF MODEをAUTOに設定した際にフォーカス調整のレンジを設定します。(標準値 : HALF)
 - ↳HALF : ハーフレンジでフォーカス調整を行います。
 - ↳FULL : フルレンジでフォーカス調整を行います。
 - ※FULL設定時、HALFよりもフォーカス調整に時間が掛かります。
- ・ ONEPUSHAF : OSDボタンを長押しする事で動作します。長押し後、フォーカス調整を行います。
- ・ SYNC TDN : D&Nモード時、Day・Nightの切替え時にフォーカス調整を行います。(標準値 : OFF)
 - ※STARLIGHTモード時には動作いたしません。
- ・ INITIAL : OSDボタンを長押しする事で動作します。長押し後、レンズモーターを再起動します。
- ・ RETURN : 前のメニューに戻ります。

(3-2)EXPOSURE

EXPOSUREではアイリス、シャッター等のカメラの感度設定を行います。

図4で、「EXPOSURE」を選択すると、図8のEXPOSUREメニューが表示されます。



図6.EXPOSUREメニュー

サブメニュー	詳細項目	設定値	
EXPOSURE	IRIS	ALC/ELC IRIS制御機能	
	SHUTTER	MANUAL	1/30(25)~1/30000(25000)
		RETURN	前のメニューに戻ります。
		AUTO	MODE INDOOR/OUTDOOR/DEBLUR
		RETURN	前のメニューに戻ります。
		FULICKER	
	SENS-UP	OFF/X2/X4/X8/X16/X32	
AGC	0~7~10		
RETURN	前のメニューに戻ります。		

- ・ IRIS : アイリスの動作を設定します。(標準値 : ALC)
 - ↳ALC(AutoLensControl) : DCアイリス動作を使用します。
 - ↳ELC(ElectricLensControl) : 電子アイリス動作を使用します。
 - ※通常はALCをご選択ください。
- ・ SHUTTER : シャッタースピードの設定を行います。(標準値 : AUTO)
 - ↳AUTO : 明るさに合わせて自動でシャッタースピードを調整します。
 - ↳FLICKER : フリッカレスに設定します。
 - ↳MANUAL : 手動でシャッタースピードを設定します。(1/30(25)~1/30000(25000))

AUTO選択時、OSDボタンを押すことでSHUTTERメニューが表示されます。



図7.SHUTTERメニュー

- ・ MODE : AUTO時のモードを選択します。(標準値 : OUTDOOR)
 - ↪ INDOOR : 屋内用の色温度にて動作します。
 - ↪ OUTDOOR : 屋外用の色温度にて動作します。
 - ↪ DEBLUR : 振動ブレを補正するモードで動作します。
- ・ SENS-UP : 電子感度アップの設定を行います。(標準値 : X4)
 - ※ STARLIGHTモード時、明るすぎる場合は倍率を下げることで改善する事がございます。
- ・ AGC(AutoGainControl) : 映像信号(ゲイン)の自動調整レベルを設定します。(標準値 : 7)
 - ※ STARLIGHTモード時、明るすぎる場合は値を下げることで改善する事がございます。
- ・ RETURN : 前のメニューに戻ります。

(3-3)BACKLIGHT

BACKLIGHTでは逆光などの明るさに対する補正機能設定を行います。(標準値 : OFF)

図4でBACKLIHGTを選択後OSDボタンの左右でモード選択を行います。



図4.OSD_FUNCメニュー

サブメニュー	詳細項目	設定値		
BACKLIGHT	OFF	逆行補正は行いません。		
	WDR	MODE	NORMAL	
		ROI	WINDOW ZONE	0~3
			WINDOWS USE	ON/OFF
			H-POS	0~1920
			V-POS	0~1080
			H-SIZE	0~1920
			V-SIZE	0~1080
		RETURN	前のメニューに戻ります。	
	WEIGHT	LOW/MIDDLE/HIGH		
	RETURN	前のメニューに戻ります。		
	BLC	H-POS	0~20	
V-POS		0~20		
H-SIZE		0~20		
V-SIZE		0~20		
RETURN		前のメニューに戻ります。		
HLC	LEVEL	0~10~20		
	COLOR	BLK/BLU/RED/MAG/GRN/CYN/ YEL/WHT/CUSTOMIZE		
	RETURN	前のメニューに戻ります。		

↪ OFF : 逆光補正を行いません。

↪ WDR(Wide Dynamic Range) : 撮影範囲全体の逆光補正を行います。

↪ BLC (Back Light Control) : 指定した箇所の逆光補正を行います。

↪ HLC(High Light Control) : 撮影範囲内の明るさの強い部分にマスクをかけます。

WDR選択時にOSDボタンを押すことで図8.WDR設定メニューを表示します。

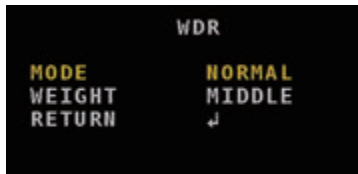


図8.WDRメニュー

- ・ MODE : WDR使用時のモード選択を行います。(標準値 : NORMAL)
↳NORMAL : 撮影範囲全体を補正範囲に設定します。
↳ROI : 指定箇所のみ補正を行います。最大4つまで範囲を指定する事が出来ます。
- ・ WEIGHGT : 補正レベルを設定します。(標準値 : MIDDLE)

MODEでROI設定時、OSDボタンを押すことで図9.ROI設定メニューを表示します。

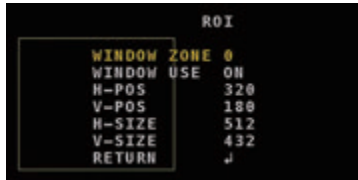


図9.ROIメニュー

- ・ WINDOW ZONE : 4つの範囲の中より使用する範囲を指定します。(標準値 : 3)
- ・ WINDOW USE : WINDOW ZONEで選択した範囲の使用のOn/Offを設定します。(標準値 : ON)
- ・ H-POS : 選択範囲の水平(横)位置を設定します。(標準値 : 920)
- ・ V-POS : 選択範囲の垂直(縦)位置を設定します。(標準値 : 630)
- ・ H-SIZE : 選択範囲の水平(横)の大きさを設定します。(標準値 : 512)
- ・ V-SIZE : 選択範囲の垂直(縦)の大きさを設定します。(標準値 : 432)
- ・ RETURN : 前のメニューに戻ります。

BLC選択時にOSDボタンを押すことで図10.BLC設定メニューを表示します。

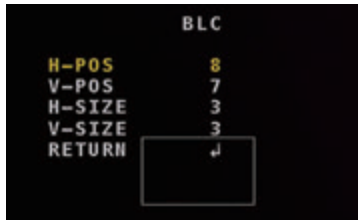


図10.BLCメニュー

- ・ H-POS : 選択範囲の水平(横)位置を設定します。(標準値 : 8)
- ・ V-POS : 選択範囲の垂直(縦)位置を設定します。(標準値 : 7)
- ・ H-SIZE : 選択範囲の水平(横)の大きさを設定します。(標準値 : 3)
- ・ V-SIZE : 選択範囲の垂直(縦)の大きさを設定します。(標準値 : 3)
- ・ RETURN : 前のメニューに戻ります。

HLC選択時にOSDボタンを押すことで図11.HLC設定メニューを表示します。

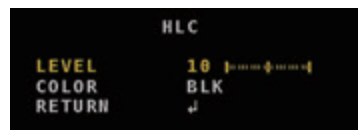


図11.HLCメニュー

- ・ LEVEL : マスクをかける明るさのレベルを設定します。(標準値 : 10)
- ・ COLOR : マスクの色を指定します。(標準値 : BLK)
- ・ RETURN : 前のメニューに戻ります。

(3-4)DNR(Digital Noise Reduction)

DNRでは映像ノイズに対するノイズ除去機能のレベル設定を行います。(標準値 : LOW)

図4でDNRを選択後OSDボタンの左右でDNRレベルの選択を行います。

(3-5)IMAGE

IMAGEでは画像の反転やプライバシーマスク、モーション等の機能設定を行います。

図4で、「IMAGE」を選択すると、図12.IMAGEメニューが表示されます。



図12.IMAGEメニュー

サブメニュー	詳細項目	設定値		
IMAGE	MIRROR	ON/OFF		
	FLIP	ON/OFF		
	DEFOG	ON	MODE	AUTO/MANUAL
			LEVEL	LOW/MIDDLE/HIGH
			RETURN	前のメニューに戻ります。
		OFF		
	PRIVACY	ZONE NUM	0~3	
		ZONE DISP	ON/OFF	
		H-POS	0~60	
		V-POS	0~34	
		H-SIZE	0~60	
		V-SIZE	0~34	
		Y LEVEL	0~20	
		CB LEVEL	0~20	
		CR LEVEL	0~20	
		TRANS	0~3	
		RETURN	前のメニューに戻ります。	
	MOTION	DET WINDOW	WINDOW ZONE	0~3
			WINDOWS USE	ON/OFF
			DET H-POS	0~60
			DET V-POS	0~34
			DET H-SIZE	0~60
			DET V-SIZE	0~34
		DET TONE	0~4	
		MDRECT	ON/OFF	
		SENSITIVITY	0~10	
		MOTION OSD	ON/OFF	
TEXT ALARM		ON/OFF		
SIGNAL OUT		ON/OFF		
DET TONE		0~4		
RETURN		前のメニューに戻ります。		
RETURN	前のメニューに戻ります。			

- ・ MIRROR : 映像の左右反転を行います。(標準値 : OFF)
- ・ FLIP : 映像の垂直反転を行います。(標準値 : OFF)
- ・ DEFOG : 霞補正の設定を行います。(標準値 : OFF)
- ・ PRIVACY : プライバシーマスクの設定を行います。(標準値 : OFF)
- ・ MOTION : モーション(動体)検知の設定を行います。(標準値 : OFF)

※通常MOTION は使用しません。

DEFOG項目でONを選択時にOSDボタンを押すことで図13.DEFOG設定メニューを表示します。

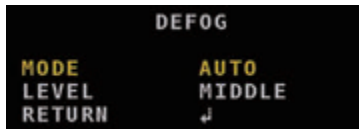


図13.DEFOGメニュー

- ・ MODE : 動作モードを選択します。(標準値 : AUTO)
→AUTO : 自動で調整を行います。
→MANUAL : 選択したLEVELで動作します。
- ・ LEVEL : 補正レベルを選択します。(標準値 : MIDDLE)
- ・ RETURN : 前のメニューに戻ります。

PRIVACY項目でONを選択時にOSDボタンを押すことで図14.PRIVACY設定メニューを表示します。

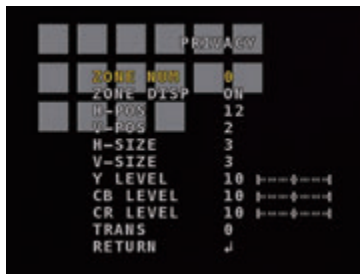


図14.PRIVACYメニュー

- ・ ZONE NUM : 設定を行う範囲番号を選択します。(標準値 : AUTO)
- ・ ZONE DISP : 選択した範囲番号の使用選択を行います。(標準値 : ON)
- ・ H-POS : 選択した範囲の水平(横)位置を選択します。(標準値 : 12)
- ・ V-POS : 選択した範囲の垂直(縦)位置を選択します。(標準値 : 2)
- ・ H-SIZE : 選択した範囲の水平(横)のサイズを選択します。(標準値 : 3)
- ・ V-SIZE : 選択した範囲の垂直(縦)のサイズを選択します。(標準値 : 3)
- ・ Y LEVEL : マスクの色(黄色)レベルを設定します。(標準値 : 10)
- ・ CB LEVEL : マスクの色(青色)レベルを設定します。(標準値 : 10)
- ・ CR LEVEL : マスクの色(赤色)レベルを設定します。(標準値 : 10)
- ・ TRANS : マスクの透明度を設定します。(標準値 : 0)
- ・ RETURN : 前のメニューに戻ります。

MOTION項目でONを選択時にOSDボタンを押すことで図15.MOTION設定メニューを表示します。

※本機ではMOTION設定は使用いたしません。

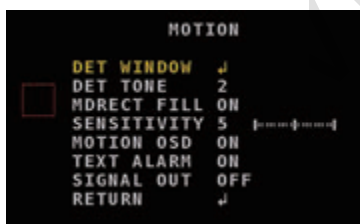


図15.MOTIONメニュー

- ・ DET WINDOW : 検知範囲の設定を行います。
- ・ DET TONE : 画面上に表示する枠の種類を選択します。(標準値 : 1)
- ・ MDRECT FILL : モーション(動体)検知時の表示を枠またはブロックから選択します。(標準値 : ON)
- ・ SENSITIVITY : モーション(動体)検知の感度設定を行います。(標準値 : 2)
- ・ MOTION OSD : 検知範囲、表示の枠またはブロックの表示、非表示の設定を行います。(標準値 : OFF)
- ・ TEXT ALARM : 検知した際に画面上にテキスト表示の表示設定を行います。(標準値 : ON)
- ・ SIGNAL OUT : モーション検知時にアラーム(信号)出力の設定を行います。(標準値 : ON)
※SIGNAL OUTは設定した場合でも使用できません。
- ・ RETURN : 前のメニューに戻ります。

DET WINDOW項目でONを選択時にOSDボタンを押すことで
 図16.DET WINDOW設定メニューを表示します。

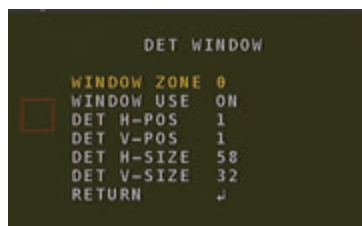


図16.DET WINDOWメニュー

- ・ WINDOW ZONE : 使用する選択範囲番号を選択します。(標準値 : 1)
- ・ WINDOWS USE : 選択した選択範囲の使用を選択します。(標準値 : ON)
- ・ DET H-POS : 選択した範囲の垂直(縦)位置を選択します。(標準値 : 26)
- ・ DET V-POS : 選択した範囲の垂直(縦)位置を選択します。(標準値 : 11)
- ・ DET H-SIZE : 選択した範囲の水平(横)のサイズを選択します。(標準値 : 33)
- ・ DET V-SIZE : 選択した範囲の垂直(縦)のサイズを選択します。(標準値 : 11)
- ・ RETURN : 前のメニューに戻ります。

(3-6)SYSTEM

SYSTEMではシステムでは出力信号の切換えや解像度の変更などを行います。

図4で、「SYSTEM」を選択すると、図17.SYSTEM メニューが表示されます。



図17.SYSTEMメニュー

サブメニュー	詳細項目	設定値	
SYSTEM	OUTPUT	MAIN OUTPUT	SDI OUTPUT/ANALOG OUT0
		SDI OUTPUT	HD-SDI/EX-SDI1.0/EX-SDI2.0
		ANALOG OUT0	HD-A/HD-T/HD-C/CVBS
		ANALOG OUT1	OFF/CVBS
		RETURN	前のメニューに戻ります。
	FRAME RATE	1080 30P/720 60P/720 30P	
FREQ	60HZ/50HZ (60HZ)		
COM.	CAM ID	0~255 (1)	
	BAUDRATE	2400/4800/9600/57600/115200	
	SET DONE	ON	
	RETURN	前のメニューに戻ります。	
LANGUAGE	ENG/KOR/JPN/CHN(S)/CHN		
SETUP	SAVE	ON	
	RETURN	前のメニューに戻ります。	
RESET	ON		
RETURN	前のメニューに戻ります。		

- ・ OUTPUT : 出力信号の設定を行います。
- ・ FRAME RATE : 出力解像度を選択します。()内はFREQ設定で50HZを選択した際の値です。
 - ・ 1080 30P(25P) : 1920×1080、30FPS(25FPS)出力を行います。
 - ・ 720 60P(50P) : 1280×720、60FPS(50FPS)出力を行います。
 - ・ 720 30P(25P) : 1280×720、30FPS(25FPS)出力を行います。
- ・ FREQ : NTSC(60HZ)とPAL(50HZ)の切換えを行います。
- ・ COM : シリアル通信時の設定を行います。※COMは使用しません。
- ・ LANGUAGE : OSDメニューの表示言語を選択します。
 (ENG・KOR・JPN・CHN(S)・CHN)
- ・ SETUP : 使用しません。
- ・ RESET : OSDボタンを長押しすると設定値を工場出荷時に設定に戻します。
 ※RESETを行うと動作モードはD&Nモードとなります。
- ・ RETURN : 前のメニューに戻ります。

OUTPUT選択時にOSDボタンを押すことでOUTPUT設定メニューを表示します。

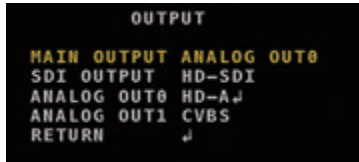


図17.SYSTEMメニュー

- ・ MAIN OUTPUT : 本機ではSDI系、アナログ系同時出力の為、使用いたしません。
 - ↳SDI OUTPUT : SDI出力をメイン出力に切替えます。
 - ↳ANALOG OUT0 : ANALOG出力をメイン出力に切替えます。
 - ・ SDI OUTPUT : SDI系出力の設定を行います。
 - ↳HD-SDI : HD-SDI出力を行います。
 - ↳EX-SDI1.0 : EX-SDI1.0(270M)の出力を行います。
 - ↳EX-SDI2.0 : EX-SDI2.0(135M)の出力を行います。
 - ※EX-SDI2.0は対応DVRのみ映像表示が可能です。
 - ・ ANALOG OUT0 : アナログ系出力の設定を行います。
 - ↳HD-A : AHD出力を行います。
 - ↳HD-T : TVI出力を行います。
 - ↳HD-C : CVI出力を行います。
 - ↳CVBS : アナログ出力を行います。
 - ・ ANALOG OUT1 : サブモニター出力(アナログのみ)の出力設定を行います。
 - ↳OFF : 映像出力を行いません。
 - ↳CVBS : CVBS出力を行います。
- ※ANALOG OUT1は通常CVBSのままご使用下さい。
(VB-HS4200WIRにはサブ出力はございません。)
- ・ RETURN : 前のメニューに戻ります。

【COM選択時のサブメニュー】

- ・ CAM ID : カメラIDを設定します。
- ・ BAUDRATE : ポーレート (通信速度) の設定を行います。
- ・ SET DONE : CAM ID及びBAUDRATEの設定を保存します。保存するにはOSDボタンを長押しします。
- ・ RETURN : 前のメニューに戻ります。

2-7.RETURN : メインメニューに戻ります。

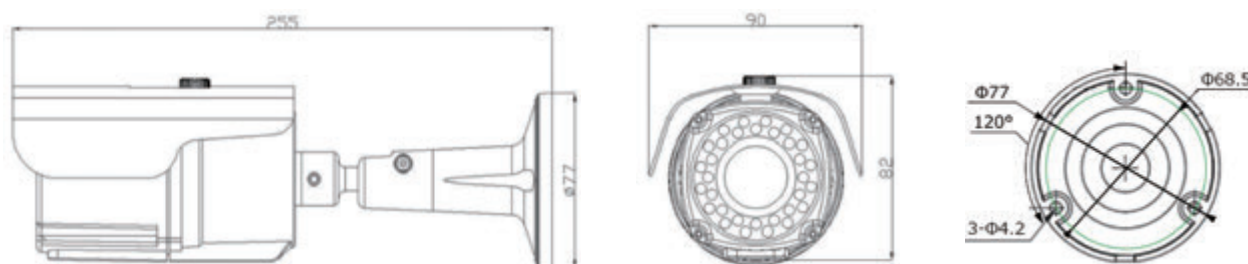
カメラ仕様

カメラの仕様は下表を参照のこと。

OSDの仕様についてはOSDメニューを参照のこと。

項目	仕様
映像素子	1/2.8ｲﾝﾁ 216万画素 SONY Exmor R COMSセンサ
総画素数	1945(H)×1109(V) = 2,157,005画素
有効画素数	1937(H)×1097(V) = 2,124,889画素
最低被写体照度	カラー:0.03lx、白黒:0.01lx D&Nモード時:0lx(近赤外線LED ON)
解像度	EX-SDI・HD-SDI:1080p、720p HD-A・HD-T・HD-C:1080p、720p CVBS:NTSC、PAL
S/N比	50dB以上(AGC OFF時)
映像出力フォーマット	EX-SDI・HD-SDI:1920×1080(30p)、1280×720(60p) HD-A・HD-T・HD-C:1920×1080(30p)、1280×20(30p)
デイ&ナイト切替	STARILIGHTモード・D&Nモード
レンズ	6.0mm～50mm オートフォーカスレンズ(One Push)
感度補正(Sens-Up)	OFF、×2～×32
電子シャッター	Auto、Flicker、Manual(1/30(25)～1/30,000 (25000))
ホワイトバランス	Auto
DNS機能	有
Smart IR(ANTI-SAT)機能	有
WDR機能	有
Motion機能	有
Defog機能	有
Privacy機能	有
Mirror機能	有
Flip機能	有
BLC機能	有
HLC機能	有
表示言語	英語、日本語、中国語、韓国語
電源	DC12V±10% MAX 600mA
動作温度範囲	-10℃～+50℃ ~90% RH(結露状態を除く)
外形寸法、質量	79(W) × 82(H) × 255(D)mm ・ 約 760g
近赤外線LED	48個
防水性能	IP67

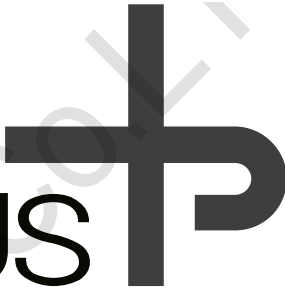
寸法図



こんな時は

- 映像が出ない
 - ↳正しく電源が供給されているかご確認下さい。
- 映像が正しく表示されない
 - ↳接続先の DVR に対応した信号出力に設定されているかご確認下さい。
 - また、接続コネクタが正しく接続されているかご確認下さい。
- 映像が鮮明ではない。何かが映っている。
 - ↳保護シートが付いたままになっているかご確認下さい。
- 画角決定後、自動でフォーカス調整を行わない。
 - ↳2-MOTOR 内の AF MODE が MANUAL に設定されていないかご確認下さい。
- 自動フォーカス後、ピントが合わない。
 - ↳再度フォーカス調整を行って下さい。
 - それでも合わない場合は SCANNING 設定を FULL にして再度お試しください、手動にてフォーカス調整を行って下さい。
- 夜間時に白黒にならない。
 - ↳STARLIGHT モード時は、常にカラーモードでの動作となります。
 - 白黒モードにする場合は D&N モードに切替えてご使用下さい。
- 夜間時に近赤外線 LED が発光しない
 - ↳STARLIGHT モード時は、近赤外線 LED は発光いたしません。
 - 近赤外線 LED は D&N モード時に発光いたします。
- 映像が白飛びする、黒潰れする。
 - ↳BACKLIGHT 設定の WDR または BLC を設定し、再度お試しください。
- 映像に引っ掛かりを感じる。
 - ↳WDR 設定時は出力フレームレートは 15fps となります。
- WDR 機能が動作していないように見える。
 - ↳CVBS 出力選択時やサブ出力使用時は WDR 機能は使用できません。
- 夜間時、STARLIGHT モードで映像ノイズが多い。
 - ↳設置環境によっては、ノイズが多くなる場合がございます。
 - その際には、EXPOSURE メニュー内の AGC 及び、SENS-UP の値を下げることでノイズ量が改善する場合がございます。
- STARLIGHT モード時、画面が真っ暗で見えない。
 - ↳設置環境の光量が少ない場合には D&N モードでご使用下さい。
- UTC(同軸制御)で操作できない。
 - ↳HD-SDI や EX-SDI 信号で接続されている場合は UTC 機能はご使用できませんので本体の OSD ボタンにて操作を行って下さい。

VPLUS.CO.LK

VPLUS 

VPLUS (Tokyo)